



Spine Week
Japan
Kobe 2012

第20回 日本腰痛学会

The 20th Annual Meeting of the Japanese Society of Lumbar Spine Disorders

プログラム・抄録集

腰痛
からの解放

会期 2012年 11月3日[土]

会場 神戸国際会議場

会長 永田 見生 久留米大学学長



第 20 回日本腰痛学会開催にあたって

永田 見生
(久留米大学学長)

平成 24 年 11 月 3 日に、第 20 回という節目の日本腰痛学会を担当させて頂き、大変光栄であります。会員の皆様に衷心より御礼申し上げます。本年は昭和 7 年 5 月に我が国で第 11 番目の整形外科科学講座として開講した久留米大学整形外科科学講座の開講 80 周年記念の年であり、本学会を主催できることは、二重の喜びであります。

今回は、神戸国際会議場において、平成 24 年 10 月 31 日（水）～11 月 3 日（土・文化の日）までの 4 日間を「Spine Week Japan 2012」と銘打った脊椎関係の 3 学会が開催され、第 46 回日本側彎症学会、第 21 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会に引き続いて最終日に第 20 回日本腰痛学会を開催いたします。

本学会が、過去の腰痛診断、治療を振り返りながら、将来へ向けての腰痛の原因解明、治療を提言できる機会となり、患者さん方が腰痛から解放される事により、就労状況が向上し、我が国の景気回復にも資することを期待して「腰痛からの解放」をテーマに設定しました。

シンポジウムは、人口の高齢化により年々増加し、日常診療の重要な課題である「腰部脊柱管狭窄症の疫学、保存療法」と「骨粗鬆症性椎体骨折の治療」の 2 つとしました。主題は「職業性腰痛の予防と治療、職場復帰の現況」、「神経原性（慢性）疼痛の基礎医学と治療」、「新しい腰痛治療と伝承したい腰痛治療」、「腰痛疾患に対する装具療法と運動療法のエビデンス」に定め、一般演題を含めて 150 題を採用しております。また、モーニングセミナーとランチョンセミナーは日本整形外科学会教育研修会認定講演であり、両方出席すれば 2 単位取得できます。

休日である 11 月 3 日の文化の日に学会を開催することは心苦しいので、昨年は 2 日間であった本学会を 1 日に短縮しております。11 月 3 日は腰痛学をしっかり勉強して戴き、地域活性化の観点から、11 月 4 日は神戸を中心とした秋の関西路を満喫し、学会の疲れを癒して、ご帰宅されますことを願いたします。

教室員一同、本学会が参加者にとって魅力あふれる学会となるように一生懸命に企画致しました。大勢の皆様の参加をお待ちしております。